

South, Central, and East Asia Pan-Regional FIRST 会議

【経緯 / 目的】

経済産業省は、米国務省が主導する Foundational Infrastructure for Responsible Use of Small Modular Reactor (SMR) Technology (FIRST) プログラムを支援している。FIRST プログラムは、原子力産業と技術革新の力を活用し、原子力エネルギー分野への新規参入を目指す国・関係者を最高水準の核の安全・保安・不拡散の下で積極的に取り込みながら、世界のエネルギー安全保障の向上を推進している。この一環として、米国務省は 2025 年 10 月下旬にシンガポールにおいて南・中央・東アジア地域の FIRST 広域会議を開催した。

【実施内容】

JICC は、海外産業人材育成協会 (AOTS) からの依頼を受け、「立地選定」「地震・津波の評価」「使用済燃料管理」に関する講義を実施し、FIRST プログラムに協力した。経済産業省の担当官からは「日本の原子力協力への取り組み」についての講演が行われた。

【成果】

本会議には、南・中央・東アジア地域の 9 か国から 50 名以上が参加した。SMR 建設に重要な「立地選定」等に関する理解が促進され、アジア地域のネットワーク促進に寄与するものであった。日本が提供した講義に対しても高い関心が寄せられた。また、JICC はこれらの国々の原子力関係者との繋がりを深め、米国務省との FIRST プログラムにおける連携を強化した。



開会セッション

資源エネルギー庁 原政課担当官による 日本側代表開会挨拶	JICC 理事長による「立地選定」講義